

6 売場面積

小売業の売場面積は228万4,929㎡で前回と比べ9万1,644㎡の減少(対前回比▲3.9%)となった。

業種別では、飲食料品小売業の売場面積が小売業の売場面積の27.0%を占め、次いでその他の小売業の26.9%、織物・衣服・身の回り品小売業の16.3%となった。

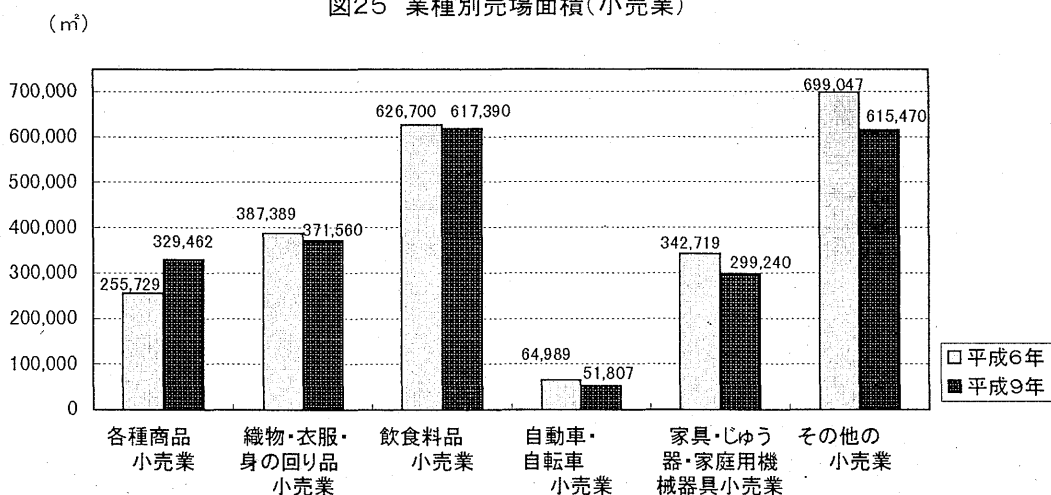
前回と比べると、各種商品小売業のみ増加し、ほかの5業種で減少した。(表13、図25)

表13 業種別売場面積

	平成6年		平成9年		
	売場面積(㎡)	構成比(%)	売場面積(㎡)	構成比(%)	増減率(%)
小売業	2,376,573	100.0	2,284,929	100.0	▲ 3.9
各種商品小売業	255,729	10.8	329,462	14.4	28.8
織物・衣服・身の回り品小売業	387,389	16.3	371,560	16.3	▲ 4.1
飲食料品小売業	626,700	26.4	617,390	27.0	▲ 1.5
自動車・自転車小売業	64,989	2.7	51,807	2.3	▲ 20.3
家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	342,719	14.4	299,240	13.1	▲ 12.7
その他の小売業	699,047	29.4	615,470	26.9	▲ 12.0

※「各種商品小売業」については、表4の注釈を参照。

図25 業種別売場面積(小売業)



7 本県の地域別商業構造

(1) 5地域別

商店数について地域別にみると、商店数が1万店を超える北勢地域が38.4%で最も多く、次いで中勢地域の26.1%、南勢地域の18.8%となった。

前回と比べると、伊賀地域のみ増加した。残り4地域では減少し、増減実数では北勢地域が、増減率では東紀州地域が最も減少した。(表14、図26)

表14 地域別商店数

	平成6年		平成9年			
	商店数(店)	構成比(%)	商店数(店)	構成比(%)	増減率(%) (9年/6年)	増減実数(店) (9年-6年)
三重県	28,823	100.0	27,739	100.0	▲ 3.8	▲ 1,084
北勢地域	11,138	38.6	10,652	38.4	▲ 4.4	▲ 486
中勢地域	7,590	26.3	7,236	26.1	▲ 4.7	▲ 354
南勢地域	5,396	18.7	5,222	18.8	▲ 3.2	▲ 174
伊賀地域	2,447	8.5	2,501	9.0	2.2	54
東紀州地域	2,252	7.8	2,128	7.7	▲ 5.5	▲ 124

従業者数は、北勢地域が41.8%で最も多く、次いで中勢地域の27.9%、南勢地域の16.5%となった。

前回と比べると、伊賀地域のみ増加した。残り4地域では減少し、増減実数では中勢地域が、増減率では東紀州地域が最も減少した。(表15、図26)

表15 地域別従業者数

	平成6年		平成9年			
	従業者数(人)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	増減率(%) (9年/6年)	増減実数(人) (9年-6年)
三重県	151,871	100.0	150,665	100.0	▲ 0.8	▲ 1,206
北勢地域	63,439	41.8	63,031	41.8	▲ 0.6	▲ 408
中勢地域	43,300	28.5	42,050	27.9	▲ 2.9	▲ 1,250
南勢地域	25,414	16.7	24,915	16.5	▲ 2.0	▲ 499
伊賀地域	11,818	7.8	13,051	8.7	10.4	1,233
東紀州地域	7,900	5.2	7,618	5.1	▲ 3.6	▲ 282

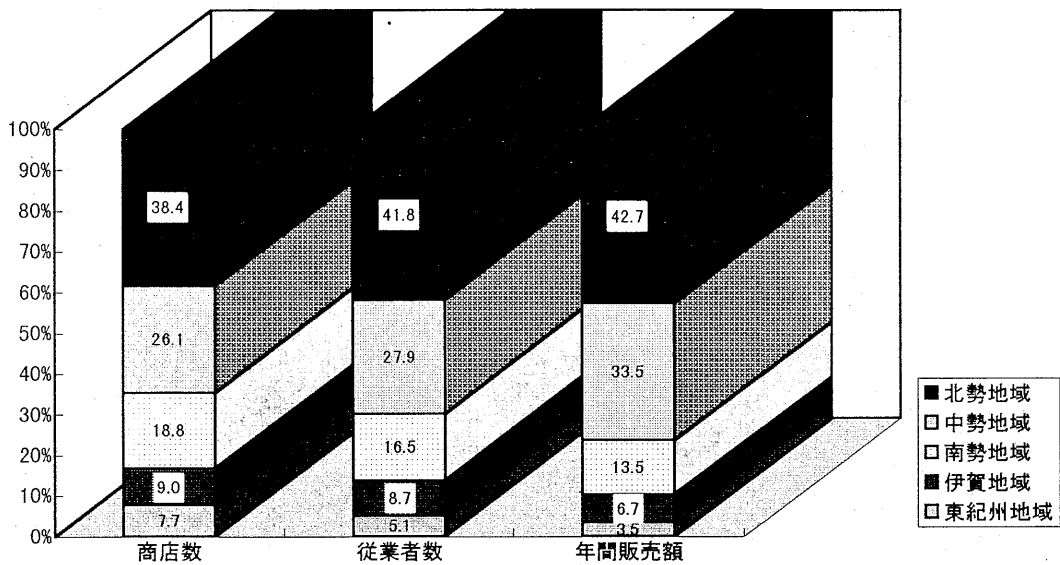
年間販売額は、北勢地域が42.7%で最も多く、次いで中勢地域の33.5%となっており、これらの2地域については年間販売額が1兆円を超えている。

前回と比べると、伊賀地域のみ増加した。残り4地域では減少し、増減実数、増減率ともに南勢地域が最も減少した。(表16、図26)

表16 地域別年間販売額

	平成6年		平成9年			
	年間販売額 (百万円)	構成比(%)	年間販売額 (百万円)	構成比(%)	増減率(%) (9年/6年)	増減実数(百万円) (9年-6年)
三重県	4,495,007	100.0	4,457,164	100.0	▲ 0.8	▲ 37,843
北勢地域	1,919,202	42.7	1,904,928	42.7	▲ 0.7	▲ 14,274
中勢地域	1,510,142	33.6	1,493,892	33.5	▲ 1.1	▲ 16,250
南勢地域	637,917	14.2	603,235	13.5	▲ 5.4	▲ 34,682
伊賀地域	271,006	6.0	299,075	6.7	10.4	28,069
東紀州地域	156,741	3.5	156,034	3.5	▲ 0.5	▲ 707

図26 地域別構成比



1商店あたりの年間販売額をみると、最も多いのは中勢地域で、次いで北勢地域、伊賀地域となり、北勢、中勢の2地域が県全体の1商店あたりの年間販売額を超えている。

前回と比べると、伊賀地域ほか計4地域が増加し、南勢地域のみ減少した。(表17)

表17 地域別1商店あたり年間販売額

	平成6年		平成9年		増減率(%) (9年/6年)
	平成6年(百万円)	指数	平成9年(百万円)	指数	
三重県	156.0	100.0	160.7	100.0	3.0
北勢地域	172.3	110.5	178.8	111.3	3.8
中勢地域	199.0	127.6	206.5	128.5	3.8
南勢地域	118.2	75.8	115.5	71.9	▲ 2.3
伊賀地域	110.8	71.0	119.6	74.4	8.0
東紀州地域	69.6	44.6	73.3	45.6	5.3

(指数は三重県全体を100とした場合のそれぞれの比率をあらわす。)

従業者1人あたりの年間販売額をみると、最も大きいのは中勢地域で、次いで北勢地域、南勢地域となり、北勢、中勢の2地域が県全体の従業者1人あたりの年間販売額を超えている。

前回と比べると、東紀州地域ほか計2地域で増加し、南勢地域ほか計3地域で減少した。(表18)

表18 地域別従業者1人あたり年間販売額

	平成6年		平成9年		増減率(%) (9年/6年)
	平成6年(百万円)	指数	平成9年(百万円)	指数	
三重県	29.6	100.0	29.6	100.0	0.0
北勢地域	30.3	102.2	30.2	102.2	▲ 0.1
中勢地域	34.9	117.8	35.5	120.1	1.9
南勢地域	25.1	84.8	24.2	81.8	▲ 3.5
伊賀地域	22.9	77.5	22.9	77.5	▲ 0.1
東紀州地域	19.8	67.0	20.5	69.2	3.2

(指数は三重県全体を100とした場合のそれぞれの比率をあらわす。)

(2)生活創造圏別

商店数は、四日市生活創造圏が18.4%で最も多く、次いで伊勢志摩生活創造圏の18.0%、津・久居生活創造圏の14.2%となった。

前回と比べると、伊賀生活創造圏のみ増加した。残り8生活創造圏では減少し、増減実数では四日市生活創造圏が、増減率では四日市生活創造圏と津・久居生活創造圏が最も減少した。

(表19)

表19 生活創造圏別商店数

	平成6年		平成9年			
	商店数(店)	構成比(%)	商店数(店)	構成比(%)	増減率(%) (9年/6年)	増減実数(店) (9年-6年)
三重県	28,823	100.0	27,739	100.0	▲ 3.8	▲ 1,084
桑名・員弁生活創造圏	2,848	9.9	2,801	10.1	▲ 1.7	▲ 47
四日市生活創造圏	5,481	19.0	5,092	18.4	▲ 7.1	▲ 389
鈴鹿・亀山生活創造圏	2,809	9.7	2,759	9.9	▲ 1.8	▲ 50
伊賀生活創造圏	2,447	8.5	2,501	9.0	2.2	54
津・久居生活創造圏	4,249	14.7	3,949	14.2	▲ 7.1	▲ 300
松阪・紀勢生活創造圏	3,578	12.4	3,515	12.7	▲ 1.8	▲ 63
伊勢志摩生活創造圏	5,159	17.9	4,994	18.0	▲ 3.2	▲ 165
尾鷲生活創造圏	1,283	4.5	1,208	4.4	▲ 5.8	▲ 75
熊野生活創造圏	969	3.4	920	3.3	▲ 5.1	▲ 49

従業者数は、四日市生活創造圏が21.6%で最も多く、次いで津・久居生活創造圏の16.5%、伊勢志摩生活創造圏の16.1%となった。

前回と比べると、3生活創造圏で増加し、増減実数、増加率とも伊賀生活創造圏が最も増加した。残り6生活創造圏では減少し、増減実数、増減率とも四日市生活創造圏で最も減少した。(表20)

表20 生活創造圏別従業者数

	平成6年		平成9年			
	従業者数(人)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	増減率(%) (9年/6年)	増減実数(人) (9年-6年)
三重県	151,871	100.0	150,665	100.0	▲ 0.8	▲ 1,206
桑名・員弁生活創造圏	13,828	9.1	14,899	9.9	7.7	1,071
四日市生活創造圏	34,447	22.7	32,513	21.6	▲ 5.6	▲ 1,934
鈴鹿・亀山生活創造圏	15,164	10.0	15,619	10.4	3.0	455
伊賀生活創造圏	11,818	7.8	13,051	8.7	10.4	1,233
津・久居生活創造圏	26,029	17.1	24,798	16.5	▲ 4.7	▲ 1,231
松阪・紀勢生活創造圏	17,939	11.8	17,910	11.9	▲ 0.2	▲ 29
伊勢志摩生活創造圏	24,746	16.3	24,257	16.1	▲ 2.0	▲ 489
尾鷲生活創造圏	4,781	3.1	4,522	3.0	▲ 5.4	▲ 259
熊野生活創造圏	3,119	2.1	3,096	2.1	▲ 0.7	▲ 23

年間販売額は、唯一1兆円を超える四日市生活創造圏が26.0%で最も多く、次いで津・久居生活創造圏の21.5%、伊勢志摩生活創造圏の13.3%となった。

前回と比べると、4生活創造圏で増加し、増減実数、増減率とも伊賀生活創造圏が最も増加した。残り5生活創造圏で減少し、増減実数では伊勢志摩生活創造圏が、増減率では松阪・紀勢生活創造圏が最も減少した。(表21)

表21 生活創造圏別年間販売額

	平成6年		平成9年			
	年間販売額 (百万円)	構成比 (%)	年間販売額 (百万円)	構成比 (%)	増減率(%) (9年/6年)	増減実数 (百万円) (9年-6年)
三重県	4,495,007	100.0	4,457,164	100.0	▲ 0.8	▲ 37,843
桑名・員弁生活創造圏	321,044	7.1	342,708	7.7	6.7	21,664
四日市生活創造圏	1,187,839	26.4	1,160,201	26.0	▲ 2.3	▲ 27,638
鈴鹿・亀山生活創造圏	410,319	9.1	402,019	9.0	▲ 2.0	▲ 8,300
伊賀生活創造圏	271,006	6.0	299,075	6.7	10.4	28,069
津・久居生活創造圏	938,184	20.9	956,721	21.5	2.0	18,537
松阪・紀勢生活創造圏	579,818	12.9	545,655	12.2	▲ 5.9	▲ 34,163
伊勢志摩生活創造圏	630,056	14.0	594,751	13.3	▲ 5.6	▲ 35,305
尾鷲生活創造圏	97,103	2.2	96,111	2.2	▲ 1.0	▲ 992
熊野生活創造圏	59,638	1.3	59,923	1.3	0.5	285

1商店あたり年間販売額をみると、津・久居生活創造圏で最も多く、次いで四日市生活創造圏、松阪・紀勢生活創造圏となり、津・久居生活創造圏、四日市生活創造圏の2生活創造圏で県全体の1商店あたりの年間販売額を超えている。

前回と比べると、津・久居生活創造圏ほか計6生活創造圏で増加し、松阪・紀勢生活創造圏ほか計3生活創造圏で減少した。(表22)

表22 生活創造圏別1商店あたり年間販売額

	平成6年		平成9年		
	年間販売額 (百万円)	指数	年間販売額 (百万円)	指数	増減率(%) (9年/6年)
三重県	156.0	100.0	160.7	100.0	3.0
桑名・員弁生活創造圏	112.7	72.3	122.4	76.1	8.5
四日市生活創造圏	216.7	139.0	227.8	141.8	5.1
鈴鹿・亀山生活創造圏	146.1	93.7	145.7	90.7	▲ 0.2
伊賀生活創造圏	110.8	71.0	119.6	74.4	8.0
津・久居生活創造圏	220.8	141.6	242.3	150.8	9.7
松阪・紀勢生活創造圏	162.1	103.9	155.2	96.6	▲ 4.2
伊勢志摩生活創造圏	122.1	78.3	119.1	74.1	▲ 2.5
尾鷲生活創造圏	75.7	48.5	79.6	49.5	5.1
熊野生活創造圏	61.5	39.5	65.1	40.5	5.8

(指数は三重県全体を100とした場合のそれぞれの比率をあらわす。)

従業者1人あたり年間販売額をみると、津・久居生活創造圏で最も多く、次いで四日市生活創造圏、松阪・紀勢生活創造圏となり、津・久居生活創造圏ほか計3生活創造圏が県全体の従業者1人あたりの年間販売額を超えている。

前回と比べると、津・久居生活創造圏ほか計4生活創造圏で増加し、松阪・紀勢生活創造圏ほか計5生活創造圏で減少した。(表23)

表23 生活創造圏別従業者1人あたりの年間販売額

	平成6年		平成9年		
	年間販売額 (百万円)	指数	年間販売額 (百万円)	指数	増減率(%) (9年/6年)
三重県	29.6	100.0	29.6	100.0	▲ 0.0
桑名・員弁生活創造圏	23.2	78.4	23.0	77.8	▲ 0.9
四日市生活創造圏	34.5	116.5	35.7	120.6	3.5
鈴鹿・亀山生活創造圏	27.1	91.4	25.7	87.0	▲ 4.9
伊賀生活創造圏	22.9	77.5	22.9	77.5	▲ 0.1
津・久居生活創造圏	36.0	121.8	38.6	130.4	7.0
松阪・紀勢生活創造圏	32.3	109.2	30.5	103.0	▲ 5.7
伊勢志摩生活創造圏	25.5	86.0	24.5	82.9	▲ 3.7
尾鷲生活創造圏	20.3	68.6	21.3	71.8	4.6
熊野生活創造圏	19.1	64.6	19.4	65.4	1.2

(指数は三重県全体を100とした場合のそれぞれの比率をあらわす。)

8 大規模小売店舗の現況

大規模小売店舗は397店で、そのうち第一種大規模小売店舗は103店、第二種大規模小売店舗は294店であった。前回と比較すると、第一種大規模小売店舗は56.1%増、第二種大規模小売店舗も37.4%増と著しく増加した。

大規模小売店舗内の商店数は、第一種、第二種大規模小売店舗を合わせても小売業商店数の9.4%だが、売場面積は47.6%、年間販売額は32.6%を占めている。

前回と比べると、小売業の商店数が減少しているなかで、大規模小売店舗及び大規模小売店舗内商店数は増加しており、年間販売額等についても大きな伸びを示している。

また、販売効率をみると、1店あたりの年間販売額は、第一種、第二種大規模小売店舗とも大きく増加した。しかし、従業者1人あたりの年間販売額は、第一種大規模小売店舗で8.3%と大きく減少し、第二種大規模小売店舗でも0.4%の微増にとどまっている。売場面積1㎡あたりの年間販売額は、第一種、第二種大規模小売店舗とも小売業計の増加とは逆に大きく減少している。

(表24、25、図27、28、29)

表24 形態別商店数、従業者数、年間販売額、売場面積

	小売業計		第一種大規模小売店舗			第二種大規模小売店舗			
	平成9年	平成6年	平成9年	構成比 (%)	増減率 (%)	平成6年	平成9年	構成比 (%)	増減率 (%)
大規模小売店舗数(店)	—	66	103	—	56.1	214	294	—	37.4
店舗内小売商店数(店)	22,955	1,294	1,591	6.9	23.0	521	559	2.4	7.3
従業者数(人)	110,979	12,513	18,108	16.3	44.7	7,032	8,243	7.4	17.2
年間販売額(百万円)	2,077,484	346,330	459,683	22.1	32.7	185,697	218,433	10.5	17.6
売場面積(㎡)	2,284,929	494,387	753,701	33.0	52.5	264,789	334,555	14.6	26.3

表25 形態別販売効率

	小売業計			第一種大規模小売店舗内			第二種大規模小売店舗内		
	平成6年	平成9年	増減率 (%)	平成6年	平成9年	増減率 (%)	平成6年	平成9年	増減率 (%)
1店あたり年間販売額(百万円)	86.3	90.5	4.9	267.6	288.9	8.0	356.4	390.8	9.7
1人あたり年間販売額(百万円)	18.8	18.7	▲ 0.5	27.7	25.4	▲ 8.3	26.4	26.5	0.4
1㎡あたり年間販売額(百万円)	0.86	0.91	5.8	0.70	0.61	▲ 12.9	0.70	0.65	▲ 7.1

図27 小売商店数に占める大規模小売店舗内商店数の推移

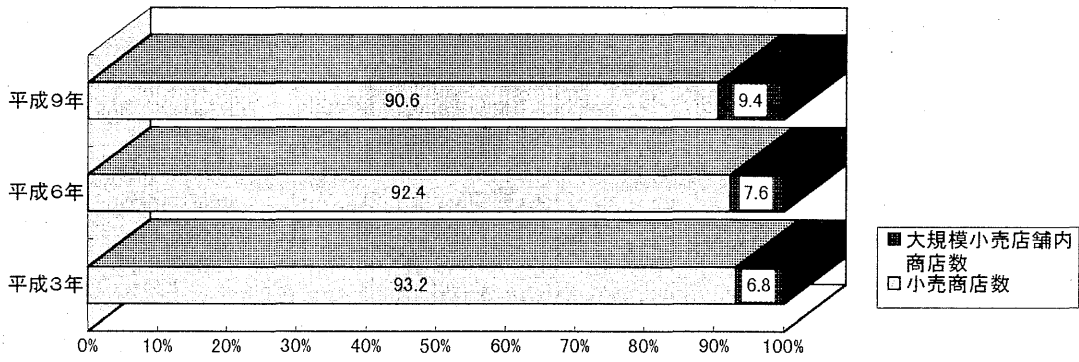


図28 小売販売額に占める大規模小売店舗の推移

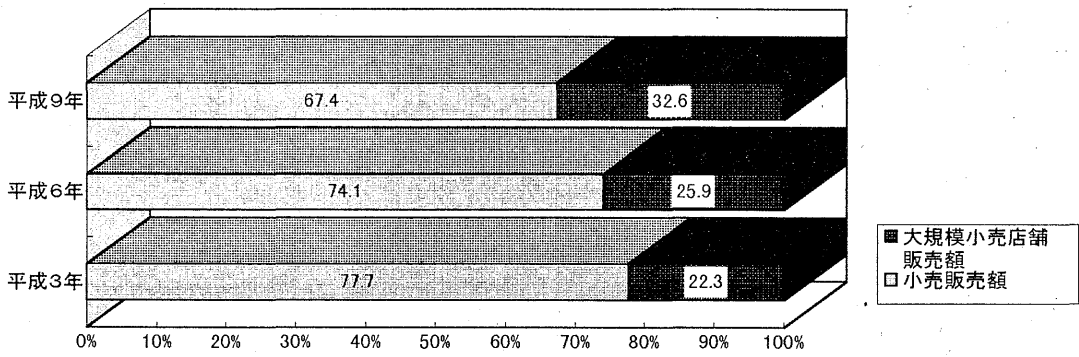


図29 小売商店売場面積に占める大規模小売店舗内売場面積の推移

